

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

核兵器禁止条約締約国会議への参加に関する内閣総理大臣への要請

貴台におかれましては、「核兵器のない世界」の実現に向けてご尽力いただき、深く感謝を申し上げます。

私たち神奈川県生協連は、核兵器廃絶と被爆者援護を共通の願いとして、被爆者とともに平和を求める活動をすすめてきました。核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは、唯一の戦争被爆国である日本国民の悲願であり、また基地県である神奈川県民の強い願いです。

被爆者の「ふたたび被爆者をつくるな」「核戦争起こすな、核兵器なくせ」という長年にわたって発信してきた強い訴えが国際社会を動かし、2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。核兵器のない世界を実現するためには、この条約に核保有国やその同盟国を始め多くの国が参加し、条約の効果的な運用と発展に向けた議論が行われることが極めて重要です。日本政府がその議論に加わることは、被爆者の切なる願いと被爆の実相をふまえた対応となるだけでなく、核保有国と核非保有国との分断を解消し、核兵器廃絶に向けた議論の共通の基盤を形成するための橋渡し役にもなると考えます。

日本政府は、米国の核に守られていることを核兵器禁止条約に署名・批准しない理由としていますが、日本と同じ米国の「核の傘」の中にいるNATO（北大西洋条約機構）主要国のドイツはオブザーバー参加することを表明しています。オブザーバーであったとしても締約国会議への日本の参加は国際社会から大きな期待をもって迎えられると考えられます。

については、日本政府におかれましては、唯一の戦争被爆国として一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准してくださるよう強く要請するとともに、まずは、来年3月開催予定の締約国会議にオブザーバーとして参加していただき、核兵器のない世界を実現する推進力となっていただくようお願いいたします。

令和3年（2021年）12月22日

神奈川県生活協同組合連合会
代表理事会長 當具 伸一